

北播磨総合医療センター

脳神経内科

指導担当医（役職）

濱口 浩敏（部長、診療科長）

実習概要

実習コース

2週間コース・4週間コースどちらも可

概要

脳神経内科は、基本的にチーム制を敷いており、主治医団の一員として患者に接してもらいます。基本的に数人の患者を受け持ち、医療面接と身体診察を上級医とともに行ってもらいます。毎朝、回診を行い、患者の状態を把握し、朝夕でチームカンファレンスを行います。週に1度多職種カンファレンス（看護師、リハビリテーション療法士、薬剤師、管理栄養士、ソーシャルワーカーとの合同カンファレンス）に出席してもらい、それぞれの立場で患者を把握するところを見学してもらいます。その他、脳神経内科として、臨床実習1、2よりもアドバンスな内容として、神経診察の習得、MRIやCT、超音波画像、脳波の読影、神経生理検査の見学などを行います。また、救急患者が来院されたら、上級医とともに神経救急の初期対応を学んでもらいます。当院では特に脳卒中患者の来院が多いため、どのように初期対応から治療方針を決定しているか、その後の経過まで一連の流れとして把握してもらいます。

実習スケジュール 基本的に2週間コース、4週間コースとも共通

1. 主治医団としての実習：毎朝、回診に立ち会い、その後のチームカンファレンスに参加。その後、上級医とともに担当症例を診察し、病状を把握する。担当患者の検査、治療、ICにも同席する。基本的に主治医団の一員であることを意識し、担当していない患者についてもある程度興味深い症例について基本的な知識を習得してもらいます。

2. 多職種カンファレンス（毎週火曜日13時から）：脳神経内科入院中の患者について、大まかな治療方針や今後の方針について話し合います。参加してもらうことで患者の把握に努めてもらいます。

3. 脳神経内科カンファレンス（毎週水曜日16時30分から）：脳神経内科入院中の患者について、特に困った症例や重要な症例について、研修医や内科専攻医のプレゼンテーション練習を体験してもらいます。

4. 内科合同カンファレンス（毎週火曜日8時から）：内科系ローテート中の初期研修医が発表する内容を聴講してもらいます。

5. 救急対応：救急患者が来られた際、上級医とともに対応してもらうことで、神経救急の初期対応を学んでもらいます。また、超急性期脳梗塞患者については、血栓溶解療法（rt-PA）や機械的血栓回収療法を行っている場面に積極的に参加してもらいます。

6. 外来見学：入院患者以外に特徴的な神経疾患の患者が来院された際には外来見学をしてもらい、特徴的な神経所見を実際にとってもらいます。

7. 検査見学、実習（毎週火曜日午後、金曜日午後）：神経生理検査（神経伝導検査、針筋電図、神経エコーなど）を見学してもらいます。

8. 脳神経外科との合同カンファレンス（毎月第4木曜日16時から）：脳神経外科との合同カンファレンスに参加してもらい、脳神経内科の立場と脳神経外科の立場から症例検討している場面を見学してもらいます。

		7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
第1週 目	月		オリエンテーション					主治医団				
	火		内科合同カンファレンス/回診	主治医団		嚔下造影検査見学		病棟多職種カンファレンス	神経生理検査見学実習			
	水		回診	主治医団/外来見学				主治医団/外来見学			脳神経内科カンファレンス	
	木		回診	主治医団				超音波検査見学、実習				
	金		回診	主治医団					神経生理検査見学実習			
第2週 目	月		回診	主治医団				主治医団				
	火		内科合同カンファレンス/回診	主治医団		嚔下造影検査見学		病棟多職種カンファレンス	神経生理検査見学実習			
	水		回診	主治医団/外来見学				主治医団/外来見学			脳神経内科カンファレンス	
	木		回診	主治医団				超音波検査見学、実習				
	金		回診	主治医団					神経生理検査見学実習			

備考：毎日朝夕で主治医団内でのチームカンファレンスがあります。

外来見学実習は水曜日を基本としますが、その他の曜日でも典型的な症例が来院された場合は適時見学実習を行います。

救急外来対応は適時行います。その他、希望者には時間外で行う血栓溶解療法（rt-PA）や機械的血栓回収療法に参加してもらうことも可能です。第4木曜日には脳神経外科との合同カンファレンスがあります。

学生へのメッセージ

・脳神経内科ではチーム医療を積極的に実践しています。ひとりぼっちになることはなく、上級医との相談もすぐに行うことができ、基本的な神経所見のとりかたをマスターすることができます。また、実習期間中、基本的に初期研修医もローテーションしていますので、当院での研修について相談も可能です。

・当院では普段よく遭遇する神経疾患である脳卒中やてんかんを中心とし、神経変性疾患や神経感染症、神経免疫疾患、末梢神経障害など、様々な疾患について基本的な知識を学ぶことができます。特に脳卒中においては、当院は一次脳卒中センター（PSC）コア施設の認定を受けていますので、救急外来での初期対応や超急性期治療（超急性期血栓溶解療法・機械的血栓回収療法）から、脳卒中の病態把握、最適な治療方針の決定、その後の経過まで一連の流れとして勉強することができます。

・脳神経内科に興味がある方は、是非とも当院での実習をご検討ください。みんなで楽しく実習をしましょう。